科目名 科目コード	診療に伴う援助技術	沙胶彩口	2 年次 A クラス・B クラス	講義・演習	の保守
	204	必修科目	A ク 7 A・B ク 7 A 1 学期	講義・演賞	2 単位
科目責任者	医学部看護学科 教授 森本 紀巳子		1 1791		
竹口貝山伯					
科目担当者	医学部看護学科 加悦 美恵、平原 直子、宮本 いずみ、姜 旻廷、水落 裕美、中山 麻由 松本 まなみ、臼井 麻里子				
教育目標到達目標	教育目標 本科目では、健康障害を持ち医療的な処置を必要とする対象者に対して、主に苦痛の緩和・健康回復のために実施する頻度が高い看護援助技術を学修する。 また、看護援助に必要な感染防止の方法についても学修する。  到達目標 1) 患者の安全を守るために必要な観察力と事故防止の方法を身につける。 2) 排泄機能障害のある患者の症状緩和に必要な基本的技術を身につける。 3) 摂食嚥下機能障害のある患者の症状緩和に必要な基本的技術を身につける。 4) 呼吸異常がある患者に症状緩和に必要な基本的技術を身につける。 5) 薬物療法に関する基本的な援助技術を身につける。 6) 診察・検査に関する基本的な援助技術を身につける。				
授業計画	第 10, 11 回 /浣腸 第 12 回 摂食嚥下機能障害の看護とは 第 13, 14 回 第 15 回 第 16, 17 回 呼吸異常時の看護とは/酸素/ 第 18, 19 回 薬物療法とは/経口与薬 第 20, 21 回 /皮下注射	世機能障害の看護 内留置カテーテ/ /排泄援助のま は/経管栄養準備 /経管栄養実施 /経管栄養まとめ 療法、吸入、吸引 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	をは 科科科科 科科科科科科科科科科科科科科科科科科科科科科科科科科科科	目担当者全員       目担当者全員       目担当者全全       目担当者       日担当者       本金       本金       本金       本金       本金       本金       本金       本金       本金       日    <	【講義・演習】 【講義・演習】 【講義・演習】 【講義・演演習】 【講義・演演習】 【講義・演演習】 【講義・演演習】 【講義・演演習】 【講義・演演習】 【講義・演演習】 【講義・演演習】 【看護・演習】
テキスト	必要時資料配布				
参考書	香春知永,齋藤やよい:看護学テキストNice 基礎看護技術 看護過程のなかで技術を理解する 第3版 南江堂,2010 村上美好:写真で分かる基礎看護技術① 初版第9刷,インターメディカ,2010 金井一薫:ナイチンゲール看護論・入門、現代者鳳選書 生活援助技術 I・IIで紹介されている参考書				
評価方法	筆記試験 50%、実技試験 50%を総合して評価する。				
授業にむけての準備学習	生活援助技術 I・II、看護学概論 I、からだの構造と機能、人間関係方法論、生命・看護倫理の内容と 関連が深いため、復習をしながら進めること。				